

平成25年度 事業報告書

平成26年6月

地方独立行政法人長崎市立病院機構

目 次

I 法人の概要

1	名称.....	1
2	所在地.....	1
3	設立年月日.....	1
4	設立目的.....	1
5	役員の様況.....	1
6	職員数.....	1
7	組織図.....	1
8	設置及び運営を行う病院等.....	2
9	新市立病院（完全開院時）の概要.....	3
10	理念等.....	4

II 業務実績報告

1	法人の総括・重点施策・課題.....	5
2	年度計画における大項目ごとの概要.....	7
3	目標値の達成状況.....	10

I 法人の概要

1 名称

地方独立行政法人長崎市立病院機構

2 所在地

長崎市新地町6番39号

3 設立年月日

平成24年4月1日

4 設立目的

長崎市における医療の提供、医療に関する研究、技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全かつ安定的に提供し、もって市民の生命及び健康を守ることを目的とする。

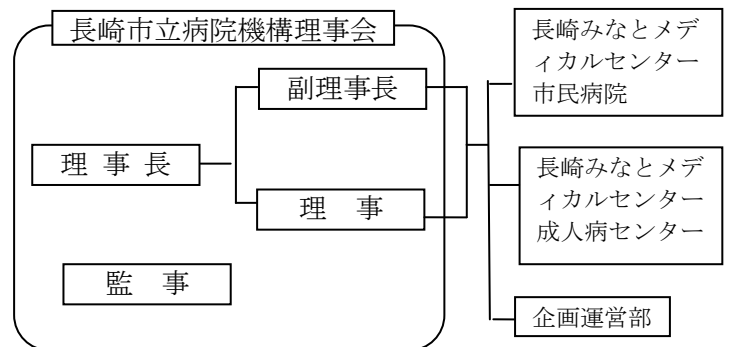
5 役員の状況

(平成26年4月1日現在)

役員	氏名	備考
理事長	兼松 隆之	・地方独立行政法人長崎市立病院機構理事長 兼 長崎みなとメディカルセンター 市民病院院長
副理事長	松本 晃	・カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO ・特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い 行動する会理事長
理事	杉町 圭蔵	・九州大学名誉教授 ・遠賀中間医師会おんが病院・遠賀中間医師会おかがき病院統括院長
	鈴木 伸	・医療法人昭和会恵美須町病院院長 ・前長崎市立市民病院院長
	千葉 憲哉	・医療法人祥仁会 西諫早病院理事長兼院長
	田所 正人	・長崎みなとメディカルセンター 成人病センター院長
	野口 静子	・長崎みなとメディカルセンター 市民病院 副院長兼看護部長
監事	黒川 智夫	・長崎みなとメディカルセンター 市民病院 企画運営部企画部長
	川崎 清廣	・川崎清廣税理士事務所所長
	白石 裕一	・前長崎市上下水道事業管理者

6 職員数 (平成26年4月1日現在)

区分	職員数
長崎みなとメディカルセンター 市民病院	742人
長崎みなとメディカルセンター 成人病センター	163人
合計	905人



7 組織図

右図のとおり

8 設置及び運営を行う病院等

(平成26年4月1日現在)

	長崎みなとメディカルセンター 市民病院	長崎みなとメディカルセンター 成人病センター
所在地	長崎市新地町6番39号	長崎市淵町20番5号
開設年月日	昭和23年12月1日	明治33年12月
院長	兼松 隆之	田所 正人
許可病床数	414床	132床
一般病床	414床(稼働364床)	96床
結核病床		30床
感染病床		6床
主な役割 及び機能	<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療輪番制病院 ・地域周産期母子医療センター ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院(地域災害医療センター) ・臨床研修指定病院(医師臨床研修センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二種感染症指定医療機関(6床) ・結核病床(30床) ・人工透析 ・救急告示病院
診療科目	33科目 内科、呼吸器内科、心臓血管内科、消化器内科、糖尿病代謝内科、神経内科、血液内科、心療内科、精神科、ペインクリニック・緩和ケア内科、産科・婦人科、新生児小児科、小児科、小児外科、外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、臨床腫瘍科、病理診断科、救急科	9科目 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、血液内科、腎臓内科
敷地面積	11,018m ²	12,359m ²
建物規模	I期棟 鉄筋コンクリート造(免震構造) 地上8階 地下2階 マニホール棟 仮設棟 建築面積 3,907.36 m ² 延床面積 31,855.19 m ²	本館 鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階 中央棟 鉄筋コンクリート造 地上3階 南病棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 建築面積 5,018.927 m ² 延床面積 12,559.285 m ²

9 新市立病院(完全開院時)の概要

(1) 新市立病院が担う主要な機能(担う領域)

- ・救命救急医療（ER型救命救急センターの設置、ヘリポートの整備）
- ・高度急性期医療（脳血管疾患医療、心疾患医療、がん医療）
- ・周産期医療
- ・政策医療（災害医療、結核医療、感染症医療）

(2) 施設概要

項 目	新市立病院 (完全開院時)	長崎みなとメディカル センター 市民病院 (I期棟オープン時)	長崎みなとメディカル センター 成人病センター
病 床 数	513 床	364 床	132 床
敷 地 面 積	11,018 m ²	11,018 m ²	12,359 m ²
病院延べ床面積 (病院機能部分面積)	40,600 m ² (38,700 m ²)	31,855 m ²	10,341 m ²
駐 車 場 台 数 (延べ床面積)	350 台 (9,915 m ²)	8 台 他に敷地外に賃貸	60 台
年間延べ入院患者数 (一般病床利用率)	160,000 人 (86.0%)	107,333 人 (72.1%)	22,436 人 (64.0%)
年間延べ外来患者数	200,000 人	131,262 人	29,277 人

※ 市民病院・成人病センターの患者数は、平成25年度の実績

※ 市民病院の一般病床利用率は414床で算出

(3) 整備・運営スケジュール

項 目	期 日
設計着手(基本設計5ヶ月、実施設計9ヶ月)	平成23年1月
「I期工事の建物」の建設工事着手	平成24年2月
「I期工事の建物」の引渡し、維持管理業務開始	平成26年1月
「I期工事建物」の開院	平成26年2月24日
市民病院建物の解体工事着手	平成26年2月
「II期工事の建物」、「駐車場棟」の建設工事着手	平成26年8月
「駐車場棟」稼動	平成27年2月
「II期工事の建物」の引渡し時期	平成28年1月
「II期工事建物」の開院予定日	平成28年5月1日
維持管理業務(保守管理・清掃・保安・利便施設運営)期間終了	平成43年3月末

10 理念等

【長崎市立病院機構】

われらが思い	患者さんとそのご家族から、職員とその家族から、そして地域から信頼され、愛される病院となります。
目標にむかって	<ol style="list-style-type: none">1. 思いやりの心もち、安全で質の高い医療を提供します。2. 地域に根ざすとともに、国際的視野をもった病院になります。3. 人間性豊かな医療人を育成し医療の発展に貢献する研究を行います。4. みずから考え、やりがい、喜び、誇りをもてる環境を創ります。

II 平成25年度における業務実績報告

1 法人の総括・重点施策・課題

平成24年4月1日、これまで長崎市の組織であった病院局から独立し、地方独立行政法人長崎市立病院機構を設置した。移行初年度である平成24年度は、理事会の設置や人員体制の整備など法人の基礎となる運営体制の確立を行った。

平成25年度は平成26年2月の新市立病院I期棟開院に向け、救命救急医療、高度急性期医療などの医療機能強化を図るとともに、新市立病院の機能・魅力を市民、地域の医療機関へ広く知ってもらうための活動にも力を入れ取り組んだ。また、新市立病院への移転を安全かつスムーズに行うための体制を整え準備をすすめ無事に開院することができた。

救命救急医療については、4月に診療時間内に「救急外来」を設け専任医師1名を配置するとともに、診療時間外も含め救急外来専任看護師も配置し救急体制の強化を行った。10月には日本救急医学会専門医を1名採用し、その後平成26年1月に1名を増員し2名体制で救命救急センターの基盤構築を行った。また、毎朝実施していた「救急カンファレンス」を、新市立病院開院と同時に刷新し、名称を「ブリッジ・ブリーフィング」に改め、内容についても前日の救急の問題点だけでなく、入院ベッドの調整、病院の問題点解決、情報共有などを行い、問題・課題への対応の迅速化を図った。

高度急性期医療については、臨床腫瘍科、脳神経外科、心臓血管外科を新設し診療機能を充実させた。また、サイバーナイフの導入によるがん治療の充実、内科的治療と外科的治療が同時に行えるハイブリッド手術室を整備し心疾患治療の充実を行った。

高度急性期医療に対応する人員体制等の充実として、看護師の増員により6月には7対1看護体制を確立することができ手厚い看護体制を整えるとともに、薬剤師の病棟配置による医薬品安全管理体制等の強化、療法士の増員により、心大血管リハの新設、脳疾患リハの上位基準取得など急性期リハビリテーションの充実を行った。

これらの充実を図っていることも含め新市立病院を広く知ってもらうための活動として、病院の活動状況等を広範囲に周知し、メディア対応等を円滑に実施するための広報担当者を民間企業での研修を実施したうえで専任者として配置した。そして、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌を通じた新市立病院PR、病院行事などの取材対応に取り組んだ。また、地域での講演会の実施や医療スタッフ等で構成したお出かけ隊（健康相談・血圧測定等を実施）による病院PR、新市立病院開院時に市民、地元自治会、地域医療機関、職員の家族等に対し内覧会を実施するなどし、多くの方に新市立病院を知ってもらう機会を作り参加していただくことができた。

新市立病院への安全かつスムーズな移転のために、総合運用移転会議を組織し、その下部組織として4つのWGを設置し、患者搬送・物品搬送・情報システム・運用について検討を進め、リハーサルも複数回行うなどして大きな問題なく移転することができた。

経営面については、経常損益では病院機構全体で約3億8,500万円の赤字となった。そのうち、市民病院では延べ入院患者数の減少により約3億3,000万円の赤字となった。収益構造のプラス面として、入院診療単価の増加、新入院患者数が増加傾向にあること、平均在院日数の短縮などもあり、平成26年度に向けた基盤づくりにつながったと考える。一方、成人病センターでは泌尿器科常勤医師の退職や循環器内科医師の減員により、手術件数等が大幅に減少し約5,500万円の赤字となった。

持続可能な経営基盤確立のため、医療機能の充実と診療報酬施設基準等の届出を進めるとともに、新入院患者獲得のための連携活動の強化やコスト削減を進めていかなければならない。そのためには人員体制の更なる強化と教育の充実を行うことと、職員の経営に対する意識改革を推進する必要がある。

る。平成 25 年度に試行導入した「Work Editing Service」（人事評価を含めた業務改善のシステム）をブラッシュアップし、職員が自ら考え行動する組織となるための意識改革を行っていく。

また、地域活動もこれまで以上に行い、地域に信頼され愛される病院となるための努力を続けていく。

2 年度計画における大項目ごとの概要

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

○救急医療

救急医療については、平成25年4月1日から診療時間内に「救急外来」を設け専任医師1名を配置するとともに、診療時間外も含め救急外来専任看護師も配置し救急体制の強化を行った。10月には日本救急医学会専門医を1名配置し、平成26年1月にさらに1名を増員し2名体制とし、救急外来において診療や研修医の教育等を実施し救命救急センターの基盤構築を行った。さらに救急輪番日においては救急専門医が来院者の多い23時まで診療を行い対応の迅速化に取り組むとともに、研修医教育、当直医師の負担軽減を図るなどの取り組みを行っている。

○高度急性期医療

高度急性期医療については、4月にがん医療の強化として化学療法の専任医師を配置し臨床腫瘍科を新設した。また、脳神経外科も新設し平成26年度の本格開設に向けた基盤づくりを行った。

平成26年1月には心臓血管外科を新設し、心臓血管内科と共に心疾患に対して内科的・外科的な立場から総合的な治療を行える体制を整えることができた。

また、新市立病院ではサイバーナイフの導入によるがん治療の充実、内科的治療と外科的治療が同時に行えるハイブリッド手術室を整備し心疾患治療の充実を行った。高度急性期医療に対応する人員体制等の充実として、看護師を増員し6月には7対1看護体制を確立することができ手厚い看護体制を整えるとともに、薬剤師の病棟配置による医薬品安全管理体制等の強化、療法士の増員による心大血管リハの新設、脳疾患リハの上位基準取得など急性期リハビリテーションの充実を行った。

○地域の医療機関との連携強化

当院への紹介・逆紹介状況について医療機関別や地域別に分析し、紹介が少ない地域への医療機関訪問を強化し連携促進を図るとともに、医療連携センターに退院調整看護師を配置し、スムーズな在宅復帰ができるよう関係機関との連携の充実を行った。

周産期母子医療センターと地域医療機関を結ぶ周産期医療情報ネットワークについて平成26年度稼働開始に向けて導入準備を進めた。

また、地域医療機関向けの新市立病院内覧会も開催し、新市立病院の機能などを知ってもらう機会とした。

○安全安心で信頼できる医療の提供

新市立病院移転と同時期に新グループウェアを導入し、市民病院及び成人病センター両病院で掲示板機能やメール機能、文書管理機能を活用することで職員間での各種情報の共有が可能となった。

チーム医療として緩和ケアチーム、糖尿病チーム、栄養サポートチーム等が多職種で活動し、患者サービスや教育なども行っている。また、安全管理委員会や転倒転落防止WG、感染防止対策チームなどによるラウンドを実施し安全安心な医療の提供に努めた。

○住民・患者サービス

クリティカルパス委員会を中心に患者用パスの増加を図り、患者と医療者の情報共有を進めることで安心感につながるよう努めた。また、パスの使用率向上に向け、パス専任師長の配置や、医師別パス使用率の結果を各診療部長にフィードバックし使用を促すなどの取り組みを行った。

職員の接遇向上・患者サービス向上として全職員を対象とした接遇研修を実施するとともに、退院患者アンケート、外来患者アンケートを行い、内容を検証して患者満足度の向上に努めた。また、個別の意見には掲示板等で回答を行いサービス向上に努めた。

適切な情報発信として、ホームページ、広報誌を充実させるとともに、広報専任者を配置しメディアを通じた広報活動も強化した。

新市立病院建設に伴う駐車場減少のため、駐車場待ちの患者さんを対象に受付を代行するサービスの実施や、移転後の患者さんの不安解消のため案内・誘導を行う職員を配置するなど患者満足度の向上に努めた。また、自動精算機を3台設置し待ち時間短縮を図った。

○適正配置と人材評価

化学療法専任医師、脳神経外科医師、救急専任医師、心臓血管外科医師などの採用を行い医療機能の強化を行った。

また、看護師、メディカルスタッフの採用を積極的に行い、救急専任看護師の配置や7対1看護体制を確立するとともに、心大血管リハの新設、脳血管疾患リハIの施設基準の届出などリハビリテーションの充実、安全な医薬品管理等のための薬剤師の病棟配置などを行った。

人事評価を含めた業務改善のシステムとして「Work Editing Service」を試行導入した。目に見えにくい部分の貢献にも加点する評価制度を検討・導入することで、職員の自覚を促すとともに、良質な医療・患者サービスを提供し、自主的な業務改善を促進した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

○組織体制の充実・連携強化(業務評価の推進、事務部門のレベルアップ)

人材評価を含めた業務改善制度「Work Editing Service」を試行導入し、職員の業務改善意識を促進するとともに、部門長が部門目標をコミットメントし、進捗確認を行い、部門目標の評価を実施した。また、それらの反省点を踏まえ、26年度実施に向けて制度のブラッシュアップに取り組んだ。

事務部門のレベルアップとして、これまで一般事務員が従事していた部分に診療情報管理士を採用し医事体制の強化を図った。また、経理事務経験者を対象とした採用試験を実施し、経理・財務処理の強化を図った。

○業務の見直しによる収支改善

実績をより詳細に分析し、各診療科における診療の適正化・効率化等による収益改善を図るため、電子カルテ等のシステム上において診療科の細分化を実施した。また、DPCの分析ミーティングを引き続き実施し、25年度は診療科ミーティングに加え、入院支援センター、医療連携センター、薬剤部、放射線部とも実施し、業務の効率化、増患対策の検討を行い収支改善に取り組んだ。

診療情報管理士によるDPCコードのチェック強化やレセプトチェックを実施し、算定漏れなどの改善を行い適正請求に努めた。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

○持続可能な経営基盤の確立

医療機能の充実を図り、平均在院日数の短縮や診療報酬施設基準の届出、地域医療機関訪問等による紹介患者増へ取り組むとともに、外来検査増の実施やジェネリック医薬品への切り替え、価格交渉の徹底などを行い、収入増と経費削減に努めた。

経営面では、経常損益では両病院で約3億8,500万円の赤字で、内訳として市民病院で約3億3,000万円、成人病センターで約5,500万円の赤字となった。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

○長崎市新市立病院整備運営事業に関する取り組み

新市立病院が担う機能である救急医療、高度急性期医療の充実を図り、それらも含め新市立病院を広く知ってもらうため、メディアを通じた広報活動の強化や地域での講演会、市民、地元自治会、地域の医療機関、職員の家族等に対しての内覧会（約1,400名参加）などを実施した。

また、安全かつスムーズな移転のために、総合運用移転会議を組織し、その下部組織として4つのWGを設置し、患者搬送・物品搬送・情報システム・運用について検討を進め、リハーサルも複数回行うなどして課題を解決し、期日内に移転・開院した。

長崎市議会において、地元発注の状況の指摘もあり、工事の進捗状況等の管理については、徹底した管理を行った。

3 目標値の達成状況

(1) 医業活動

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)
救急搬送人数(人)(暦年)	2,305	2,200	2,695	122.5	247	250	223	89.2
手術件数(件)	2,093	2,400	2,103	87.6	190	200	98	49.0
紹介率(%)	41.0	52.3	41.2	78.8	56.5	-	54.6	-
逆紹介率(%)	49.3	56.4	58.5	103.7	24.4	-	27.6	-

※紹介率及び逆紹介率市民病院算定式(目標値は小数点以下切り捨て)

$$\text{紹介率(}\%) = \frac{\text{紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100 \qquad \text{逆紹介率(}\%) = \frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100$$

※成人病センターは地域医療支援病院ではないため、紹介率及び逆紹介率の目標値は定めていない。

(2) 住民患者サービス

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)
クリティカルパス種類	101	120	94	78.3	14	19	19	100.0
患者アンケートによる 満足度の向上(%)	97.5	98.0	98.7	100.7	98.3	97.0	100.0	103.1

(3) 医師数

項 目	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)
医師数(人)	81	82	84	102.4

※医師数には、研修医は含まない。

※平成24年度実績値は平成25年3月31日現在(内訳:市民66人、成人15人)

※長崎市第四次総合計画による目標値として、平成28年度92人としている。

※平成25年度実績値は平成26年3月31日現在(内訳:市民73人、成人11人)

(4) 看護体制(長崎みなとメディカルセンター 市民病院)

項 目	25年度目標値	25年度実績値
7対1看護体制の確立	平成25年度までの整備及び体制維持	6月に届出及び体制維持

(5) 患者動向

項 目		長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
		24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)
入院 (一般病床)	延べ患者数(人)	120,097	121,000	107,333	88.7	25,985	29,930	22,436	75.0
	1人1日当たり 単価(円)	46,059	49,513	52,560	106.2	37,932	38,770	40,034	103.3
	病床稼働率(%) (病床数)	80.6 (414床)	81.3 (414床)	72.1 (414床)	88.7	74.2 (96床)	85.4 (96床)	64.0 (96床)	74.9
	平均在院日数 (日)	14.2	14.0	12.6	111.1	19.2	18.5	17.7	104.5
外来	延べ患者数(人)	125,908	128,200	131,262	102.4	32,916	34,606	29,277	84.6
	1人1日当たり 単価(円)	13,305	13,000	12,688	97.6	22,358	22,664	22,286	98.3

(6) 経営指標

項 目	長崎みなとメディカルセンター 市民病院				長崎みなとメディカルセンター 成人病センター			
	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)	24年度 実績値	25年度 目標値	25年度 実績値	達成率 (%)
総収支比率(%)	106.7	98.9	94.9	96.0	95.4	99.4	97.2	97.8
経常収支比率(%)	105.7	98.9	96.3	97.4	95.8	99.8	97.3	97.5
医業収支比率(%)	97.9	89.7	85.6	95.4	83.4	88.5	83.1	93.9
給与費比率(%)	55.6	58.9	61.2	96.2	67.1	61.8	67.3	91.8
	52.7	56.3	59.4	94.8	62.5	58.4	64.3	90.8
材料費比率(%)	24.1	23.4	25.1	93.2	26.7	26.3	24.4	107.8
経費比率(%)	14.5	17.4	18.6	93.5	20.0	18.9	21.6	87.5

※ 給与費比率は、上段に退職手当負担金及び退職給付費用を含んだ比率を、下段にそれらを除いた比率を記載している。

【参考】中期計画・年度計画記載の実績値（計画に記載の順序）

1 長崎みなとメディカルセンター 市民病院

指 標		23 年度 実績値	24 年度 実績値	25 年度 実績値	
高度医療	がんに関する相談人数(人)	663	641	662	
	緩和ケア チーム活 動	カンファレンス・回診 (回)	45	45	51
		院内研修 (回)	12	11	4
	がん手術件数(件)	729	673	608	
	急性心筋梗塞手術件数(件)	72	102	129	
	放射線治療件数(件)	4,631	5,664	4,402	
	化学療法件数(件)	1,071	1,668	1,385	
地域医療連携	地域医療講演会開催回数(回)	5	16	15	
	地域医療講演会参加人数(人)	172	628	713	
	医療福祉相談件数(件)	2,432	2,611	2,775	
	開放型病床利用病床率(%)	4.4	9.2	3.9	
	開放型病床への登録医師数(人)	138	139	142	
	あじさいネット年度末累計値（※平成 21 年 11 月からの累計値）				
		登録施設数(施設)	42	54	69
	登録人数(人)	715	1,083	1,582	
	紹介数(人)	400	587	831	
	アクセス件数(件)	7,963	11,389	15,484	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	13	17	14	
	薬剤管理指導件数(件)	1,531	1,623	4,384	
対策 感染	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	3	6	21	
拠点 災害	災害訓練の実施回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回	
	長崎DMA T チーム数	2 チーム	2 チーム	2 チーム	
の医療 外国人へ	外国人患者数(人)	入院	2	5	4
		外来	15	6	15
	外国人延べ宿泊者数(人)	116,051	128,519	178,560	

※外国人延べ宿泊者数・・・長崎市文化観光部「観光統計」より

指 標		23 年度 実績値	24 年度 実績値	25 年度 実績値
情報発信	情報誌発行回数(回)	12	12	12
	患者・家族向け(院内)	6	6	7
	住民・医療機関向け(院外)	6	6	5
	ロビーコンサート等の開催回数(回)	6	8	11
患者サービス	患者サービスに係る委員会の開催回数	12	12	12
	病院機能評価認定(更新)	維持	維持	維持
	接遇研修開催回数(回)	1	6	7
	ボランティア登録数(人)	8	8	17
適正配置	看護職員数(2病院合計)	382	387	441
	医療技術員数(2病院合計)	93	94	122
	医師事務作業補助者数(2病院合計)	32	32	33
	初期研修医受入数(2病院合計)	5	8	10
研究	治験実施件数(件)	13	8	12
	製造販売後調査件数(件)	47	25	9
	臨床研究件数(件)	22	21	15
	学会発表件数(件)(暦年)	190	130	149
	論文件数(件)(暦年)	31	51	43
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)	5	7	7
公開	診療録開示件数(件)	35	38	31
事務部門	事務職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	40	45	43
	現業職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	1	1	0

※適正配置及び事務部門欄における実績値は3月31日現在の2病院の合計数値を記載し、平成23年度実績値は4月1日現在、平成24年度・平成25年度は3月31日現在の2病院合計の数値を記載

2 長崎みなとメディカルセンター 成人病センター

指 標		23 年度 実績値	24 年度 実績値	25 年度 実績値	
医療	開心術件数(件)	16	0	0	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	2	2	2	
	薬剤管理指導件数(件)	759	371	316	
対策	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	2	2	2	
結核・感染症医療	感染症患者数(人)	入院	0	0	0
	結核患者数(人)	入院	3,640	3,483	2,805
		1日最大入院患者数	16	13	10
		1日最大排菌患者数	15	11	9
透析患者数(人)	入院	3,986	3,768	3,694	
	外来	12,088	11,628	11,119	
情報発信	情報誌発行回数(回)		1	10	13
		患者・家族向け(院内)	-	9	12
		住民・医療機関向け(院外)	1	1	1
	ロビーコンサート等の開催回数(回)		1	2	2
患者サービス	患者サービス検討委員会開催回数		12	12	12
	接遇研修開催回数(回)		1	1	1
	ボランティア登録数(人)		0	4	3
研究	治験実施件数(件)		7	0	1
	製造販売後調査件数(件)		17	7	0
	臨床研究件数(件)		17	4	1
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)		1	1	1
公開	診療録開示件数(件)		4	1	4